

# センター通信

2018年 夏号



静岡キリスト教盲人伝道センター 2018年7月15日発行

\*\*\*\*\*

## 巻頭メッセージ

### 『お互いに愛し合おう』 理事長 青山昭一郎

7月になりました、皆様いかがお過ごしでしょう。今年の夏も暑くなりそうです。

6月に大阪地方において大きな地震があり、また西日本では豪雨による大きな災害がありました。皆様の暮らしが支えられますようにお祈り致します。

地震は、私たちの暮らしているところの土台が揺れ動くものです。「動かざること山の如し」という言葉もありますが、動くはずがないと思っていた土台が揺れ動くということは、思いもかけない不安や恐れをもたらします。

私たちの人生の土台も、確かな土台でなければ、それは揺れ動いたり、土台ごと流されてしまうようなこともあるかもしれません。確かな土台は神様「とこしえの岩」です。決して動くことがない土台です。

私たちは、色々な方から、あなたのために祈っています、という手紙や言葉をもらうと大変勇気づけられます。私たちは、いつも忙しくしていますから、祈って下さいという手紙やメールをもらうと、その時すぐに祈るようにするとよいと思います。忘れると不真実なことになりますから、手紙やメールを読んだとき、祈り、後はそれを思い出したとき家庭礼拝や個人礼拝で祈ります。そのように祈り合うということは、私たちをお互いに勇気づけるものです。祈って下さった。祈りの中に私のことを覚えていて下さった。これは本当に人間に生きる力を与えるものだと思います。孤独を味わうとき、そのように知っていて下さるとか、祈っていて下さることを知ることは大切なことです。

百万人の福音書に掲載された「俊哉の部屋」で、稲垣俊哉さん（オペラ歌手）とアーサー・ホーランドさん（牧師、全米選手権チャンピオン、最近はモデルや俳優としても活躍中）の対話がありました。そのなかで、アーサー・ホーランドさんは次のように行

っています。

「伝道とは、神、罪、救いを語ること。長年そう言われてきたし、俺もそう思うよ。でもそこに至るプロセスが大事じゃないかと思う。よくクリスチャンがノンクリスチャンから言われる言葉で「あなたの行っている愛は分かるけど、あなたから愛を感じない」というのがある。俺らは地の塩、世の光とちゃんとなっているか？ 信仰ゆえに、あれもできない、これもできないと、社会の中で浮いた存在になっていないかと思うわけ。

俺らの信じているジーザスは最高にかっこいい存在で、神は神に似せて俺らを造って下さったんだから、俺らも本来魅力的な存在なわけじゃない。今俺が魅力を失っていたとしたら、それは本来の自分の姿ではないということなんじゃないかな。」

「だれも神を見たことはない。どうやって神を見るのかと言えば、神を信じている人を通して見るわけ。俺は「神、罪、救い」を語る前に、ジーザスがそうしたように、親身になって側にいることってすごく大切なことじゃないかと思う。

ジーザスは罪を救うために来たわけで、品行方正を無理をして見せるより、こんな俺でも救って下さった方がいる、俺だって救われたんだからお前だって救われるよ、そう言うほうがよっぽど伝わるんじゃないかと思うんだよね。」と言っておられました。

初代教会では、今のように聖書はありませんでした。だから、そこでは他の宗教と異なるものは、互いに愛し合うことでした。イエス・キリストが弟子たちの足を洗われることにおいて、あるいは、イエス・キリストが十字架について死なれたというような、イエス・キリストの具体的な業において、神から愛されていることを知ったなら、私達も人を愛していかざるを得なくなります。イエス・キリストにおける神の愛を私達は知りました。知ったということは何か、そこから新しいものが生まれてこなければおかしいと思います。それを現わしていかざるを得なくなります。そこに深い交わりと言いか、愛の交わりが生まれてきます。

「お互いに愛し合おうではないか」そういうことにおいて、私達はキリストを人に示していくことが出来ると言うのです。大事なのは愛し合うことであると言うのです。

『よき力に真実に静かに取り巻かれ、不思議にも守られて慰められて、私はこれらの日々を君たちと共に生き、そして君たちと共に新しい年へと歩んで行く』

ボンヘッファー（21讚美歌 469）

キリストに結ばれた者として精一杯生きましょう。神様から与えられた魂と体で心を込めて生きましょう。この私には、私にしかできない神様から与えられた仕事があるはずです。その仕事を果たし終えるまで、神様から与えられたこの体で生きて行きましょう。そして地上の生涯を終える時、私達はこの体をも神様にお返しするのです。



# 図書案内

2018年3月～6月までに新規製作・完成した図書です。

## 新音訳デイジー図書 (mp3)

1	愛と光と生きること	三浦光世	2005	日キ教団出版局	1時間28分
2	五つの“ソラ”から「宗教改革」後を考える	吉田 隆	2017	いのちのことば社	3時間4分
3	神さまに教えてもらった 負けない心のつくり方	ニック・ブイチチ	2017	アチーブメント	8時間3分
4	神なき時代のキリスト者	フランス・A・シェーファー	1991	いのちのことば社	5時間22分
5	教会教義学3-4-2 創造論 創造者なる神の誠め2	カール・バルト	1980	新教出版社	25時間53分
6	教会教義学3-4-3 創造論 創造者なる神の誠め3	カール・バルト	1980	新教出版社	29時間5分
7	キリスト教は女性をどう見てきたか 原始教会から現代まで	H・キュンク	2016	教文館	7時間50分
8	クリスチャン医師と考える LGBT 問題	ぶどうの木	2012	ぶどうの木	1時間10分
9	自伝的伝道論	加藤常昭	2017	キリスト新聞社	6時間16分
10	信仰生活の手引き 聖書	塩谷直也	2012	日キ教団出版局	4時間23分
11	聖書のヘルシーライフ上 聖霊の実 あなたの泉	真殿輝子	2016	一粒社	3時間47分
12	聖書のヘルシーライフ下 神のスマイル あなたの笑顔	真殿輝子	2017	一粒社	4時間41分
13	聖書は何と語っているでしょう 「生きること」「死ぬこと」そして、永遠に 生きること	湊 晶子	2017	ヨベル	3時間40分
14	創世記(下) 24章～50章	車 潤順	2009	サランセム	8時間42分
15	病床で学んだこと	ジョン・ハイパー	2017	いのちのことば社	1時間32分
16	ふたりのスケーター	ノエル・ストリートフィールド	2017	教文館	4時間17分
17	星をまく人	キャサリン・パターソン	2010	ポプラ社	8時間48分
18	あなたを苦しめているのは誰?	ぶどうの木	2017	ぶどうの木	58分
19	祈り 心を高くあげよう	渡辺正男	2015	日キ教団出版局	1時間16分

## 点訳図書

1	イエスのたとえ話 やさしい聖書研究	橋本昭夫	1989	聖文舎	1冊
2	語りつづけた言葉	岡崎 晃	2016	教文館	2冊
3	がん哲学外来で処方箋を カフェと出会った24人(tomo セレクト)	樋野興夫	2016	日キ教団出版局	2冊
4	きょうもしあわせです。	イ・チソン	2006	アスペクト	3冊
5	クリスマスの3つの目的	リック・ウォレン	2016	いのちのことば社	1冊
6	黒人の進む道 世界は一つの屋根のもとに	マーティン・ルーサー・キング Jr.	1999	明石書店	6冊
7	この時聖書を開いた 31人に訪れた神の祝福	カレブの会編著	2015	イーグレブ	1冊
8	新版 サンタクローズの謎	賀来周一	2008	キリスト新聞社	3冊
9	人権思想とキリスト教 日本の教会の使命と課題	森島 豊	2016	教文館	2冊
10	人生で大事なことは 聖書がすべて教えてくれる	生田 哲	2001	成甲書房	3冊
11	ど真ん中主義 堂々といこう！日本のクリスチャン	万代栄嗣	2004	日本伝道出版	1冊
12	二〇五〇年冷凍人間の朝	平山 峻	1999	青蛾書房	2冊
13	ボンヘッファー家のクリスマス	ザビネ・ライプホルツ・ ボンヘッファー	1993	新教出版社	2冊
14	マルティン・ルター エキュメニズムの視点から	W.カスパー	2017	教文館	2冊
15	み言葉の調べ I 主イエスの生涯	宍戸達・好子	2005	新教出版社	6冊
16	み言葉の調べ II 詩編講解	宍戸 達・好子	2005	新教出版社	2冊
17	黙示録 イメージの源泉	岡田温司	2014	岩波書店	4冊
18	ルターと賛美歌	徳善義和	2017	日キ教団出版局	2冊
19	私は戦争のない世界を望む	アルノ・グリュン	2013	ヨベル	2冊



# お知らせ

① 夏季休館日 8月11日(土)～8月19日(日)

② 50周年記念感謝集会を行います。

日時：2018年11月23日(金・祝日) 11時から15時まで

場所：改革派静岡教会会堂

内容：感謝礼拝/木村りえさん・りささんピアノ演奏/交わり

昼食を用意しますので、ご参加の方は、11月10日(土)までにお知らせください。

③ 夏のご支援献金のお願い

当センターはプロテスタント唯一の点字図書館として、今後もネット点字図書館：「サピエ」加盟館として励んでまいります。経済状況の厳しいときですが、この伝道の働きが継続できますよう、お祈りご支援ください。

ご送金は郵便振替用紙をお用いください。また、口座引き落としのワイドネットもあります。詳しくはお問い合わせください。



**会計報告** 2018年度 1月～5月までの会計報告です。 皆様のご支援感謝いたします。

	費目	年間予算	1-5月合計	%
収	献金:諸教派	1,500,000	419,825	30
	献金:改革派	4,500,000	1,522,838	34
	献金:静岡教会	880,000	559,176	64
入	雑収入	850,000	862,217	101
	基金繰出	750,000	0	
	繰り越し	0	0	
	収入合計	8,480,000	3,364,056	40
支	事業費	2,525,000	761,745	30
	対外協力費	165,000	73,700	45
	一般管理費	5,790,000	2,193,356	38
	繰越	0	335,255	
	予備費(含基金)	0	0	
	支出合計	8,480,000	3,364,056	40

\*選挙公報製作費が雑収入に入りました。

## 2018年3月～5月 献金感謝報告

(敬称・回数略)

【個人】青山昭一郎、青山鶴江、植木正作、大西弘子、岡田孝子、長田満、加藤朝子、亀田功治、木崎フサ子、桑原健次、佐藤恵子、篠崎友照、柴田美代子、赤代安子、鈴木経子、高岡茂子、竹脇義果、野中稔史、西村永湖、二村厚司、伴裕子、宮坂和子、本橋恭代、山田ふみ子、矢作正道、山下タカ子、横山米子、吉川正子、渡辺のり子、匿名4名、犬山教会維持会員、江古田教会維持会員、静岡教会維持会員、千城台教会維持会員

【教会・団体】(日キ教団) 隠岐教会、大台めぐみ教会、静岡一番町教会、田園調布教会、長崎教会、(福音刊布教会連合) 三番通福音キリスト教会、(ホリ祠) 西落合キリスト教会、(改革派) 江古田教会、恵那キリスト教会、男山教会、川越教会、札幌教会、神港教会、宿毛教会婦人会、関キリスト教会、綱島教会、豊明教会、羽生栄光教会、船橋高根教会、山形教会、横浜中央教会、四日市教会、中部中会長老会、中部中会執事研修会、中部中会連合婦人会、静岡盲婦人ホーム

心より感謝申し上げます。

\*\*\* \*\*

大阪北部地震、また西日本豪雨の被害にあわれた皆様、ならびにご家族の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。早くの生活の回復と心の平安をお祈り申し上げます。

悲しみや苦しみから希望のある喜びへ、暗闇の中にも光があると主は教え導かれます。共に覚えて祈ってまいります。



\*\*\* \*\*

製作：静岡キリスト教盲人伝道センター 〒422-8041 静岡市駿河区中田 1-5-21

TEL 054-285-0496 fax 054-285-0746 郵便振替 00870-2-7003

URL <http://www.dct7.net> メールアドレス [shizumouden@dct7.net](mailto:shizumouden@dct7.net)